



麻布區麻布北日下窪町二番地

大舟青恋標



東京市麻布區  
下貳番町拾參番地  
南條文雄

奉

有終張を料峭し候之書

多祥くありし事加て候之書

格(受)て候之書 勢(山)天(河)の

事(口)就きてし事(今)日

未(洋)哲(学)カ(方)編(カ)ニ(事)ナリ

等(手)ノ(上)ニ(事)後(方)ノ(事)忽(卒)ニ

推(測)ニ(點)下(ニ)誤(テ)ナリ(テ)誤(案)件

所(之)誤(テ)日(古)外(ノ)生(殺)ノ(事)

月(日)ノ(事)ナリ





唐書傳ニテ曰ち家ノ一生致シ斗

月日、其本止ありて明了、承

知新、其終の、其傳、少も清

刻、其遊集の、其書、其書

通、其不仕唯、其洋、其洋

書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書

其書、其書、其書、其書



其母に之も有つて了りてつるも  
るに能く之を以て試みし右に付  
来りしる日響らる朝有替りて  
の不在にてもあふりある格あかし  
らうらふに格に響らるるも  
らあふり其の響らるるも尤も  
るの自に響らるるも響らるるも  
通知致方よりりるるるるる  
る中終るも存るるるるるる  
若くは之も其の響らるるるる  
らるるるるるるるるるるる  
の自に響らるるるるるるる

うららるる ちまはるるるる

ちまはるる

研小